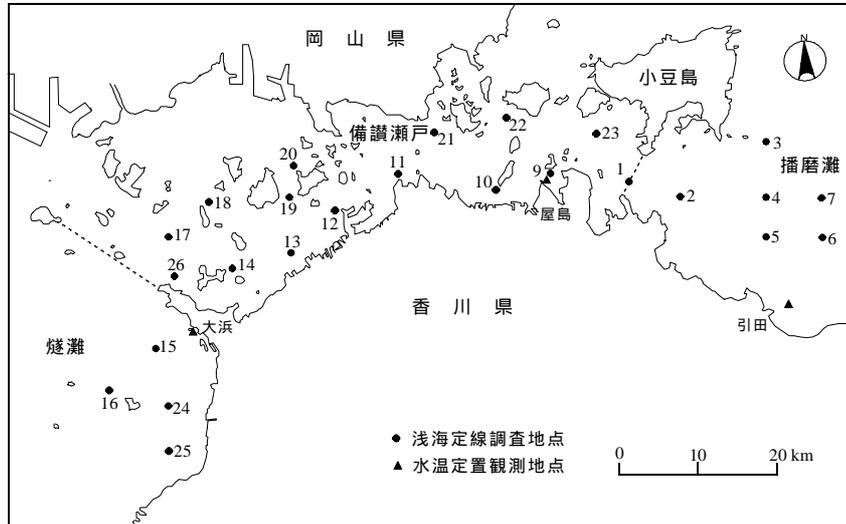


香川県漁海況速報 平成16年12月 (H16- 9号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成16年12月2日(播磨灘) 1日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高めから著しく高め」、塩分は「著しく低め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	18.2	18.2	18.3	30.4	30.5	30.6	9.1	5.05	4.99
	平年値	16.7	16.7	16.8	32.0	32.1	32.1	7.1	5.41	5.32
	平年偏差	1.5	1.5	1.5	-1.6	-1.6	-1.6	2.0	-0.36	-0.33
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	やや高め	かなり低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	17.5	17.5	17.5	29.6	29.6	29.7	5.8	5.21	5.26
	平年値	15.9	15.9	16.0	32.0	32.0	32.2	5.2	5.38	5.33
	平年偏差	1.6	1.6	1.5	-2.5	-2.4	-2.5	0.6	-0.17	-0.07
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	17.9	17.8	17.9	30.1	30.2	30.2	6.3	5.36	5.28
	平年値	16.4	16.3	16.4	32.3	32.3	32.4	7.5	5.40	5.27
	平年偏差	1.5	1.5	1.5	-2.2	-2.2	-2.2	-1.2	-0.04	0.01
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

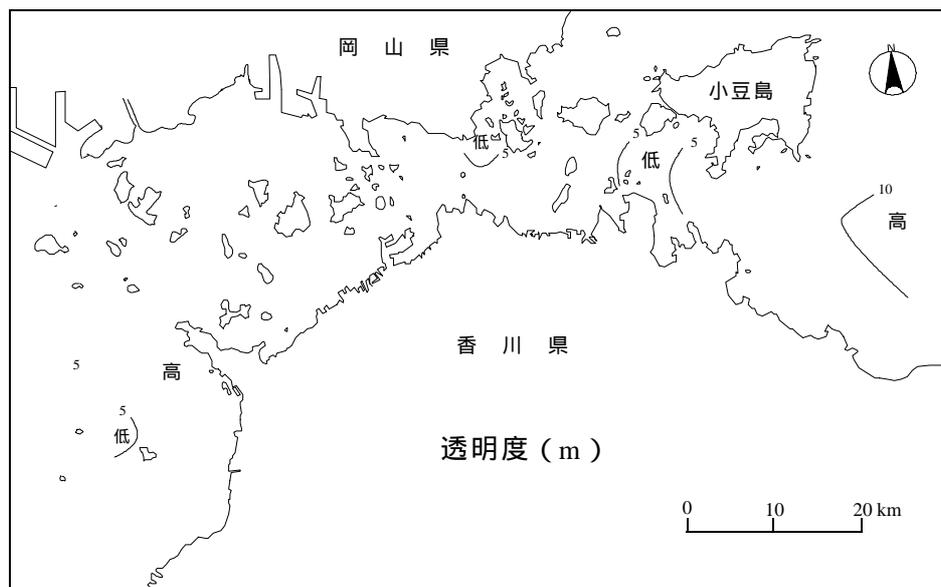
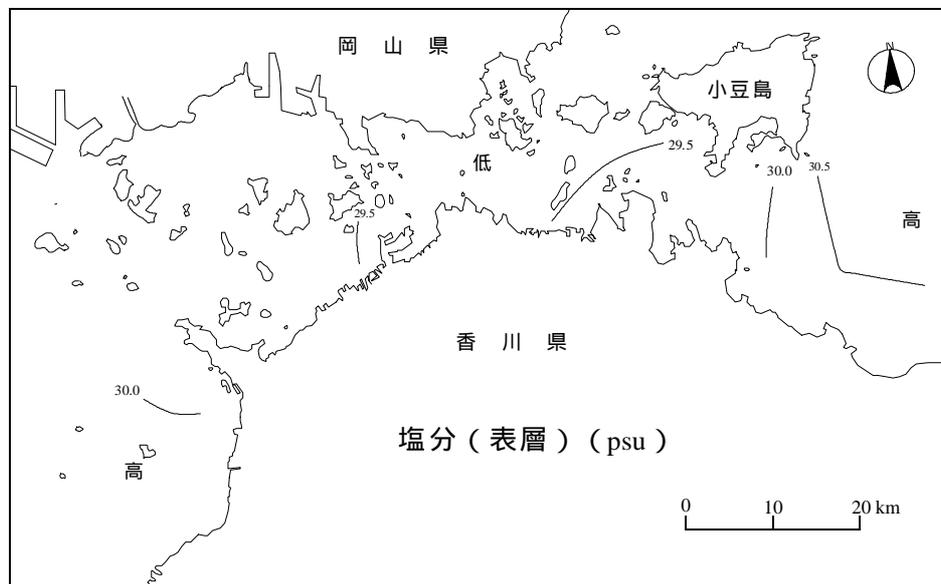
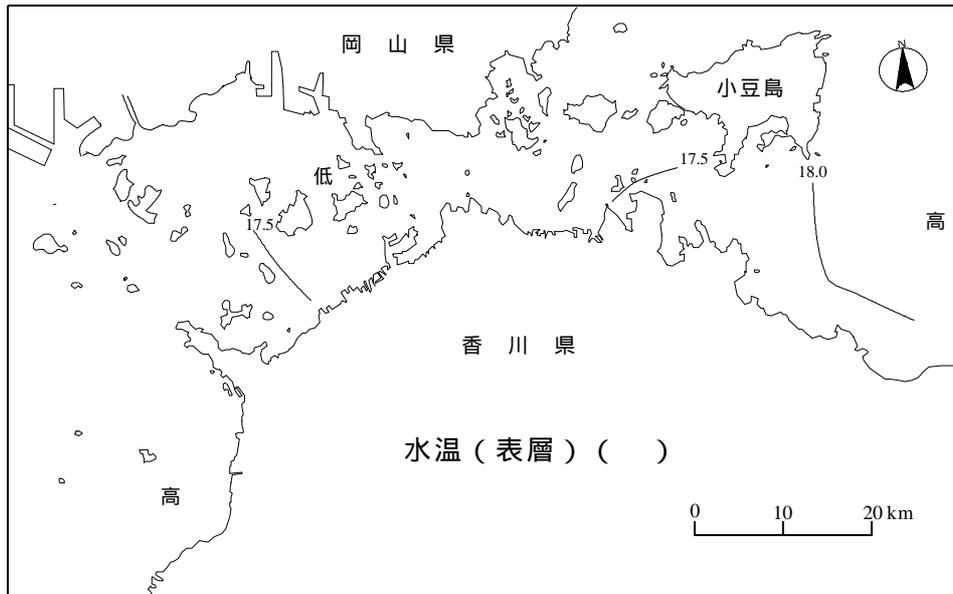
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



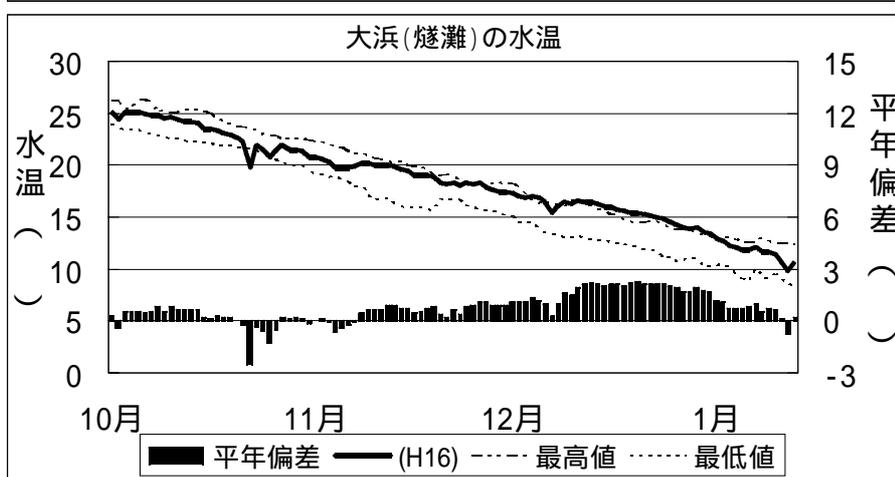
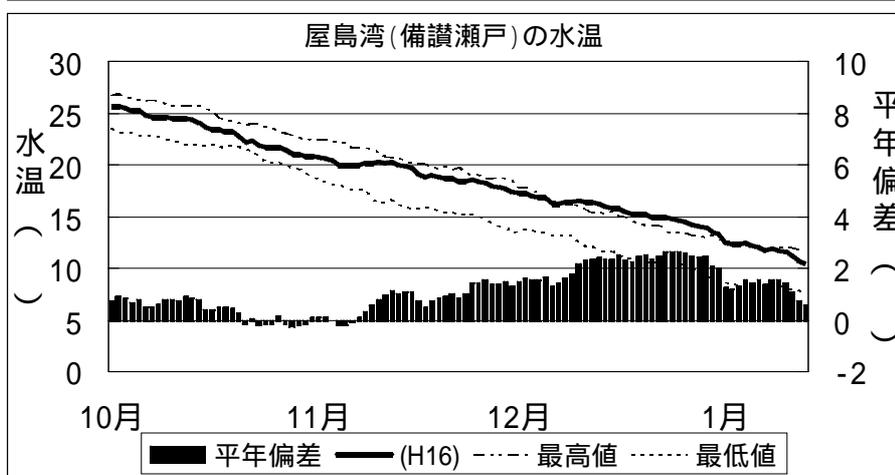
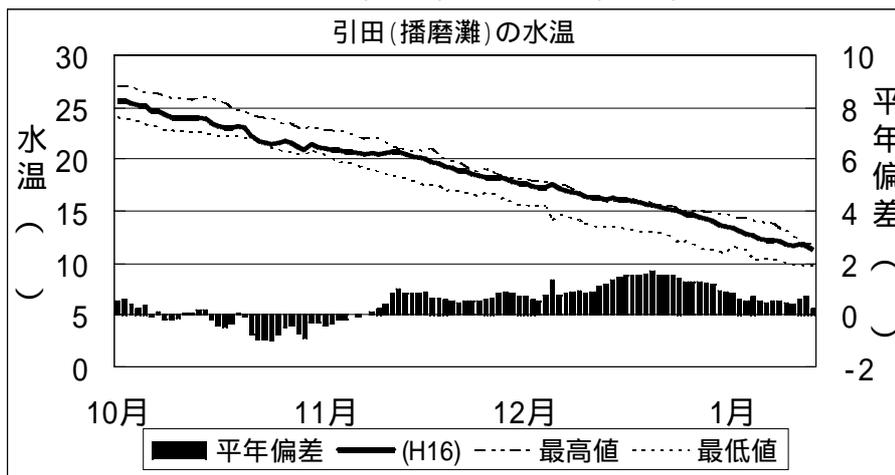
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 平年偏差は11月上旬から大きくなり、中旬から1 前後で推移し、12月中旬には1.7 に大きくなった後、小さくなり、1月に入り0.5 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 平年偏差は11月上旬から大きくなり、中旬から1.5 前後で推移し、12月中旬には更に大きくなり観測以来の最高水温を更新する2.5 前後で推移した。1月に入り低下傾向で推移している。

燧灘(大浜): 平年偏差は11月上旬から大きくなり中旬から1 前後で推移し、12月中旬には更に大きくなり2.1 前後で推移した。1月に入り平年値前後まで小さくなっていく。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成16年 12月 2日（播磨灘） 1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.30
備讃瀬戸平均	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	2.60	0.20
燧灘平均	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.19	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	0.19

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	-	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

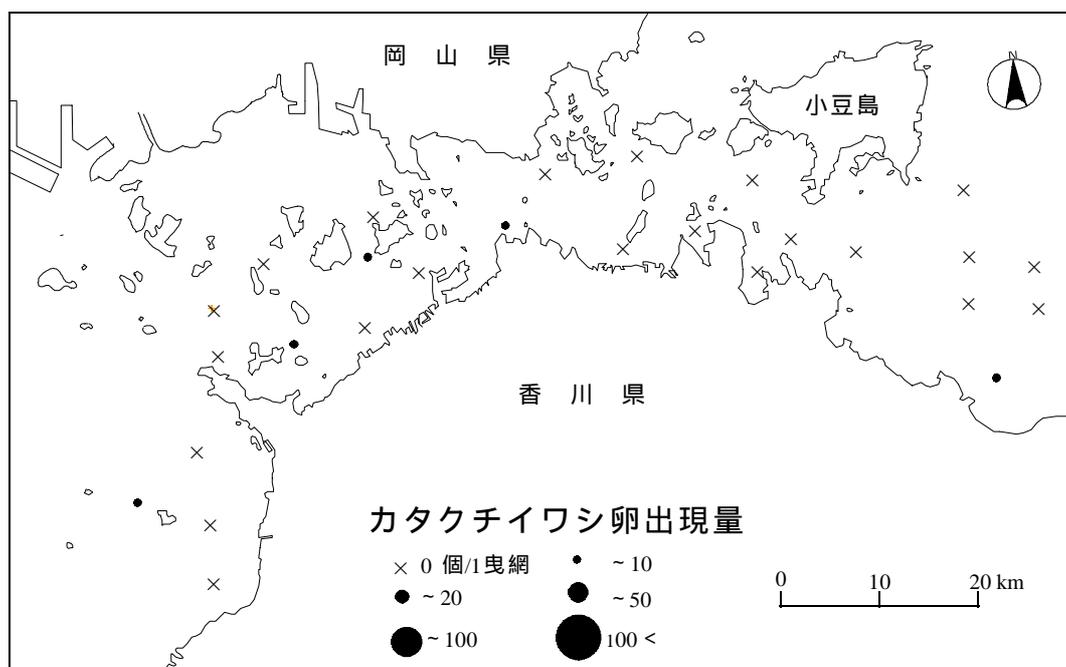
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 15（2003）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 15（2003）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

11月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にメイタガレイ、小型エビ類、マダイ(当才魚) 小型イカ類、スズキが漁獲されているが、全般的に低調である。 ます網では主にスズキ、タチウオ、カワハギ、マアジ(当才魚) アイゴが漁獲されている。 建網では主にガザミ、マダコが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、 小型エビ類、マダイが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は12月2日から操業が 始まり、漁獲量は100kg/隻・日前後で小型貝が多かった 前年に比べて漁獲される大きさはやや大きめである。
燧 灘	底びき網では主に小型エビ類、シャコ、メイタガレイ、ガザ ミが漁獲されている。